

岩切市長3期目の抱負

10月23日(日)、任期満了に伴う市長選挙が行われ、現職の岩切秀雄氏が再選されました。そこで今回は、市長の市政に関する3期目の抱負を紹介します。なお、任期は本年11月7日から4年間となります。



みんなのふるさと

躍動 薩摩川内

このたび、市民の皆さまをはじめ各方面から多くのご支援を賜り、3期目となる市政のかじ取りをさせていただくことになりました。

これまでの2期8年間、さまざまな場面におきまして、市政運営にご協力をいただきましたことに、衷心より感謝申し上げます。

新たな出発点に臨み、3期

活力の低下などの課題について、まちづくりとしての道筋を定めながら、その環境や仕組みづくりを全力で推進してまいりました。

これからの4年間は、厳しい環境の中、皆さまと描いたまちづくりを着実に実行し、効果を発揮しながら、次の世代に継承していく大切な時期であると考えております。

私は、市政発展を確実なものにするため、次の4つの基本戦略を掲げ、皆さまと共に新たな未来へ向け推進してまいります。

①暮らしやすい薩摩川内

誰もが安心して生き生きと暮らせるまちづくり、防災・防犯対策をはじめ医療・福祉や教育の充実、地域での支え合い、待機児童の解消など、子ども・若者・子育て世代・高齢者・障害者などが安心して暮らせる環境を整えます。

また、市民が誇れ、訪れる方が「暮らしやすく、住んでみたい」と感じるまちづくりを進めます。

②誰もが主役になる薩摩川内

女性も男性も、若者も高齢者も活躍できるまちづくり

文化・スポーツ、地区コミュニティ協議会・自治会、ボランティア組織やNPO、観光地域づくりなど、さまざまな活動シーンで若者や高齢者、女性など市民すべてが主役になれるまちづくりを進めます。

③活気みなぎる薩摩川内

豊かな特性で活力を生み出すまちづくり、市民所得の向上と雇用創出のため、基幹産業である農林・畜産・水産業の振興、農商工連携と六次産業化を推進するとともに、観光や次世代エネルギー関連の産業化を加速させ、地域を担っていく産業として育てながらシティーセールスを展開します。

また、商工業の振興や中心市街地の活性化とともに、企業誘致や起業・創業など内発型産業の取り組みを積極的に支援します。

④未来へつながる薩摩川内

開かれた市政と持続可能な行政運営、必要とされる市民サービスや公共施設などを維持・提供できる行政基盤を確立させるとともに、国・県との連携を強化することにより効果的な市政運営を行います。

また、身近で、市民の声に応え、安心してもらえる組織体制を構築します。

これらを実現するために、今日の激変する社会情勢を踏まえ、継続して行政改革に取り組んでまいります。市民の皆さまの声をしっかりと受け止め、職員一丸となって共に知恵を出し合い、次世代に誇れる「みんなのふるさと」躍動薩摩川内をつくっていかねければなりません。

初心である「我を切つて個性を残せ」の言葉を改めて心に刻み、残された課題を先送りすることなく、これまでの行政経験や市長としての実績を活かしつつ、市政のさらなる発展・飛躍のために、全身全霊を傾けて取り組んでまいります。皆さまには、これまでと同様のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。市長就任の挨拶いたします。

薩摩川内市長

岩切 秀雄

12月は地球温暖化防止月間です

1997年12月に、京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)をきっかけに、日本では12月を「地球温暖化防止月間」としています。この機会に、地球温暖化防止について考えてみませんか。

【問合せ】本庁環境課環境管理グループ ☎(23)5111(内線2721)



地球温暖化って、なんだろう？

地球温暖化とは、地球表面の大気や海洋の平均温度が長期的に上昇する現象のことです。

地球温暖化のメカニズム

地球に届く太陽からの光は、地表を暖めます。暖められた地表からは熱赤外線が放出され、宇宙に出ていきます。地球の大気中に含まれる温室効果ガスは、この出ていく熱の一部を吸収することに、地球を「温室」のように暖かく保つてくれています。

しかし、人間の活動によって大量の温室効果ガスが大気中に放出されると、地球の気温が上昇します。これが、地球温暖化の仕組みです。

地球温暖化の影響

地球温暖化は、地球全体の気候に大きな変動をもたらすもので、ここ数十年の異常な気候変動は、人間の生活や自然の生態系にさまざまな影響を与えています。

日本においても平均気温の上昇、農作物や生態系への影響、大雨の増

加、暴風および台風などによる被害も観測されています。

温室効果ガスって？

温室効果ガスは赤外線を吸収する気体で、二酸化炭素、一酸化二窒素、メタン、フロン類などのことです。

温室効果ガスの中で、環境への影響が最も大きいものが二酸化炭素です。産業革命前(1750年頃)と比べて約40%増加しています。

日本における取り組み

昨年12月にパリで開催されたCOP21において、2020年以降の新たな国際枠組みとして「パリ協定」が採択されました。

日本は、2030年度に温室効果ガス排出量を26%削減(2013年度比)することを掲げています。この目標の達成のために、地球温暖化対策のためさまざまな取り組みが進んでいます。

地球温暖化の進行を防ぐために

私たちの生活や経済活動から排出される温室効果ガスを減らすことが地球温暖化の防止につながります。

温室効果ガスの多くを占めている二酸化炭素(CO₂)は、私たちの暮らしに欠かせない石油、ガスなどのエネルギーの使用時や、電気をつくる時、車を動かすとき、ごみを燃やすときなどに排出されます。

私たちが生活スタイルを見直すことで、温室効果ガスを減らすことができます。

- ① エネルギーを無駄遣いしない
- ② 再生可能エネルギーを利用する
- ③ 省エネルギー型の製品を選ぶ
- ④ 公共交通を利用する
- ⑤ 移動には徒歩や自転車を利用する
- ⑥ ごみの分別(資源化)や減量化に努める

環境省では、地球温暖化対策のための国民運動として「COOL CHOICE」の参加を呼び掛けています。

「COOL CHOICE」は、日本の温室効果ガス排出量削減目標達成のために、低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策のため、快適な暮らしにつながるあらゆる「賢い選択」をしていくことという取り組みです。すでに賛同登録した団体などに

エコドライブ ふんわりアクセルを踏めば、温暖化にブレーキがかかる。

冷房代わりに冷たいアイス 地球にもおいしいエコです。

あなたが残業すると、電気まで残業になる。

(環境省ホームページより)

るロゴマークやポスターを活用した呼び掛けも始まっています。夏の「クールビズ」や冬の「ウォームビズ」もこの取り組みの一つです。

身近な生活の中で、未来のために無理なく楽しく、今から始められる「COOL CHOICE(賢い選択)」の取り組みに参加してみませんか。詳しくは、公式ホームページを参照ください。

未来のために、いま選ぼう。

国民運動「COOL CHOICE」のロゴマーク

<https://funtoshare.env.go.jp/coolchoice/join.html>